

海の猛毒生物に
要注意!

どく 毒のとげ

❖ コミヤ園長のチェックポイント

海の生きものでとくに気をつけたいのが、「毒棘」と呼ばれる毒のとげをもつ生きものだ。魚、エイ、ウニのほかに、クラゲもとげをもっているぞ。クラゲの触手には、「刺胞」という小さなふくろがついていて、毒針が入っている。とげをもつ危険生物は海で出会うことが多いので要注意だ。

Q どうして毒のとげをもっているの?

A 魚のとげは、おもに身を守るためのものだと考えられています。毒のとげをもつ魚が人間をおそうことはありません。しかし、身を守るために威嚇されたり、知らずに近づいたり釣ったりしたときに、人間が刺される事故がおこっています。

オニダルマオコゼ

ひれの猛毒のとげが刺さるとはげしく痛んではれあがります。呼吸困難やけいれんをおこして死亡することもあります。岩そっくりなので、気づかずにふんでしまう事故がおこります。
●オニオコゼ科 ●30cm ●西太平洋、インド洋 ●毒のとげ

オニオコゼ

背びれ、腹びれ、しりびれに強い毒をもつとげがあり、刺されると、はげしい痛みが数日ついたり、熱が出たりします。毒は熱で分解されるので、おいしい白身の魚として、食用にされています。●オニオコゼ科
●20cm (体長) ●本州～九州／西太平洋 ●毒のとげ

キリンミノ

頭、背びれ、しりびれ、腹びれに猛毒のとげがあり、刺されると、傷口が赤くはれ、強い痛みが18時間もつづくといいます。キリンミノカサゴとも呼ばれます。
●フサカサゴ科 ●18～20cm (体長) ●九州以南／インド洋、西太平洋、南アフリカなど ●毒のとげ

アイゴ

背びれとしりびれに毒のとげがあり、刺されるととても痛みます。海でよく釣れる魚ですが、素手でさわらないようにしましょう。●アイゴ科 ●25cm ●西太平洋 ●毒のとげ

ハナミノカサゴ

背びれに猛毒をもつとげがあり、死亡事故もおきています。ひらひらした胸びれや背びれは、海藻にまぎれて身を隠したり、敵をおどろかしたりするのに役立ちます。●フサカサゴ科 ●29cm ●駿河湾以南、インド洋、太平洋 ●毒のとげ

▲アイゴの背びれのとげは、するどく危険です。



◀横から見たオニダルマオコゼ。背びれにたくさんのとげがあります。